

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	公共維持G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)道路の整備	担当者名	狩野久志	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473
	目的:対 象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 2 道路施設管理事業 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 0 0 1 道路維持補修事業
	目的:対 象	道路利用者	意図	安全に移動できる。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・舗装、ガードレール等道路施設の破損等に関する自治会、土木委員、郵便局、道路利用者等からの維持要望受付及び道路パトロールを行い修繕を実施する。 ・現地確認

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		・道路に関する破損等の情報受付 ・現地確認 ・修繕の実施 ・修繕経費の支出	・道路に関する破損等の情報受付 ・現地確認 ・修繕の実施 ・修繕経費の支出			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 修繕要望箇所	件	762	1,562	1,013	1,000
	イ 修繕実施箇所	件	377	1,055	828	800
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	①生活道路の利用者 ②雲南市道	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		イ 雲南市市道延長	km	1,112	1,112	1,111	1,111
		ウ					
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 要望箇所に対する修繕実施率	%	49.5	67.5	81.7	80.0	
	イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	69.2	68.5	63.3	63.3	
	ウ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	53.3	64.6	72.3	72.3	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
修繕内訳 【大 東】97箇所 12,530千円 【加 茂】30箇所 3,505千円 【木 次】48箇所 7,806千円 【三刀屋】56箇所 8,291千円 【吉 田】45箇所 6,849千円 【掛 合】32箇所 4,429千円 計 308箇所 43,410千円 工事請負費内訳 3箇所 計4,499千円 役員費867千円、委託料919千円、使用料及び賃借料52千円、原材料費861千円	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	72,803	78,803	50,608	33,092
		事業費計 (A)	千円	72,803	78,803	50,608	33,092
	人件費	正規職員従事人数	人	7	6	6	
		延べ業務時間	時間	3,360	2,880	2,880	
		人件費計 (B)	千円	13,699	12,476	12,211	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	86,502	91,279	62,819	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・インフラの老朽化が進行しており、道路維持修繕は地域要望の中で最も多いものとなっている。	・各総合センターで実施していたものを、平成28年度より本庁集約した。 ・平成29年度から大規模修繕対応について道路施設整備事業を立ち上げ、対応することとした。	・市民から危険箇所等多数の改善要望。 ・議会から維持修繕の重要性と着実な実施や、防草コンクリートの必要性を指摘されている。

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・平成29年度より別枠で、道路施設整備事業を実施している。 ・平成26年度より大規模な修繕については、防災・安全交付金を活用した事業で取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	理由	・道路法の規定により道路管理者は、道路を適切に維持管理しなければならない。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		・市道等は市民の生活道路であり廃止は出来ない。		
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	・市道の日常修繕業務について、以前は各総合センター事業管理課が対応していたが、現在は建設部建設工務課が一括対応しており、既に統合の形態が取られている。	
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	・道路河川愛護作業など、市民をあげてボランティアに取り組んでもらっているが、施設老朽化等による修繕が増加する中、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	・舗装、ガードレールの修繕等、技術や機械設備を要する業務は、今後も業者委託・請負が基本となる。また、道路構造物の老朽化に伴う修繕の増加及び住民からの修繕要望箇所も多数あり、人員体制の縮小は困難な状況にある。		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	・公道の維持管理業務であり、一部の受益者に偏った事業実施でなく、受益者負担もない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・道路河川愛護作業など、市民をあげてボランティアに取り組んでもらっている。しかし、今後は高齢化や人口の減少によりボランティア作業にも限界がある。 ・道路維持修繕の必要性は、今まで以上に高まっていくため、道路補修することで、道路利用者の安全が確保できる。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
・道路施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加の傾向にある。 ・道路環境整備事業の業務委託にて、作業員により簡易修繕等がより迅速に行えるようになった。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		